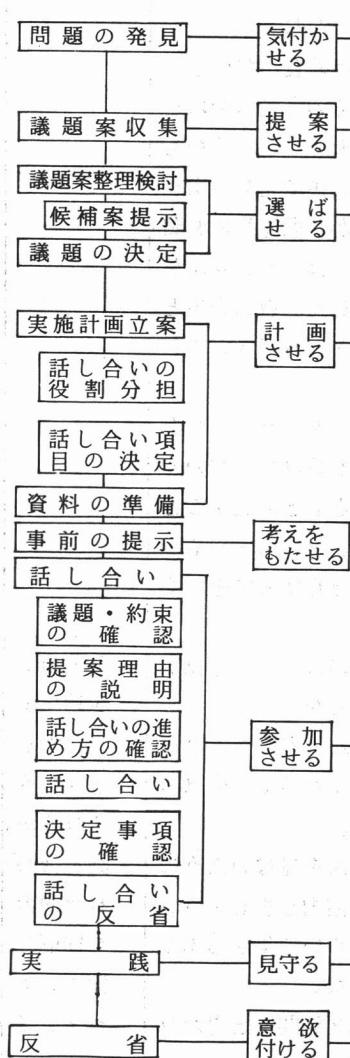


5. 司 何もなければ、話し合いを終わります。書記に決まったことを発表してもらいます。	(観察) (問題点のチェック)	と、何とかしたいという気持ちが、問題の解決につながったのだと思います。みんなのもの、みんなのための学級会です。これからもがんばってください。	となるような助言をしたか。
6. 司 先生のお話をお願ひします。 T きょうは、とてもすばらしい話し合いでした。みんなが本気になって考えたこと	・今後の実践活動の意欲付け	司 これで第12回学級会を終わります。	(自己評価) (相互評価)

(3) 助言指導に対する教師の自己評価の例

県北 H小学校



評価項目	評価	備考
1. 学級生活全般にかかる問題に気付かせる働きかけをしたか。	A B C □ □	
2. 気付いた問題を提案し、解決していくうとする必要性を知らせ、みんなの声を反映させたか。	A B C □ □	
3. ブロックごとの議題選定の観点のもとに、議題案を吟味させたか。	A B C □ □	
4. 取り上げられなかった議題案の処理の仕方を明らかにしたか。	A B C □ □	
5. 話し合いの原案の作成や話し合いの進め方について計画委員会の児童の手で作成させたか。	A B C □ □	
6. 「議題について考えられる要素表」を作成し、指導する事柄と児童にまかせる事柄をはっきりさせたか。	A B C □ □	
7. 計画を予告させ、自分なりの考えをつめさせておいたか。	A B C □ □	
8. 助言はできるだけ控え、見守るという態度で参加したか。	A B C □ □	
9. 問題の中心からはなれないようにしながら、意見をまとめさせるようにしたか。	A B C □ □	
10. 学年のめやすにより、司会、書記などの役割が果たせるように助言したか。	A B C □ □	
11. 話し合いの最後に、本時の話し合い活動を通して、今後の実践の意欲付けになるような助言をしたか。	A B C □ □	
12. できる限り決定通り実践させ、満足感を得させるように児童の発達段階や活動経験を考慮して助言したか。	A B C □ □	
13. 一連の活動過程を記録に残し、次の活動の足がかりにさせることができたか。	A B C □ □	